

生活単元学習 学習指導案

日 時：令和〇年12月〇日（〇）〇校時
 対 象：小学部 3 年生〇名， 4 年生〇名
 場 所：小学部〇組教室
 指導者：〇〇〇〇（T1），〇〇〇〇（T2）
 〇〇〇〇（T3）

1 単元名 「冬の行事を楽しもう～みんなで干支に変身！年賀状作り～」

2 児童の実態

本学級は，3 年生男子〇名，女子〇名，4 年生男子〇名の計〇名から編制されている。障がいの程度は様々であり，個人の特性及び認知発達に応じた配慮が必要である。個々の児童の実態は次の通りである。

児童	実 態
A	3 年生男子 自閉症スペクトラム，知的障がい，ADHD
	・話すことが好きで教員に話しかけることが多い。人前で積極的に発表することは苦手である。 ・写真撮影は，恥ずかしがることがある。友だちの写真撮影に注目できる。 ・テレビ画面に映したスライドに，興味があり注目することができる。 ・制作は好きで，一人で取り組んだり，友だちと一緒に取り組んだりすることができる。
B	3 年生男子 自閉症，知的障がい，広汎性発達障がい
	・発語は少なく絵カードで伝えたり，短い言葉（「できました」）で伝えたりすることができる。 ・写真撮影では，視点を合わせることが難しく離席しようとすることがある。 ・テレビ画面に映したスライドに，興味がある部分に注目することができる。 ・制作では，手先に不器用さや過敏性があり，教員の支援を受けながら作成することができる。
C	3 年生女子 知的障がい
	・発音が不明瞭だが，短い単語を発音したり，絵カードを選んだりすることができる。 ・写真撮影において，カメラに視点を合わせ，意欲的に参加できる。 ・テレビ画面に映したスライドに，興味があり注目することができる。 ・制作では，手先に不器用さがあり，教員の支援を受けながら作成することができる。
D	3 年生女子 自閉症，知的障がい，言語発達遅滞
	・発表には消極的だが，自信がある答えは，挙手して答えることができる。 ・写真撮影では，初めは嫌がることもあったが，楽しんで参加できるようになってきている。 ・テレビ画面に映したスライドに，興味があり注目することができる。 ・制作は好きで，じっくりと取り組む。作業や物の選択に時間がかかることがある。
E	4 年生男子 知的障がい
	・発語はほとんどなく，言葉だけの指示は理解が難しいが，絵カード等で要求ができる。 ・写真撮影では，長時間撮影されることは苦手である。 ・スケジュールの変更，集団活動が苦手であり，情緒が不安定になると休憩に入る。 ・長時間着席して授業に参加することは難しいが，課題や休憩を挟みながら参加できる。 ・制作は，教員の支援を受けながら一緒に取り組むことができる。
F	4 年生男子 自閉症スペクトラム，知的障がい，不安障がい，自閉症易刺激状態
	・人と話すことが好きで，友だちの良さに気づいて，言葉で褒めることができる。 ・自ら発表することは苦手だが，自分の答えに自信があると口頭で発表できる。 ・写真撮影では，楽しんで参加することができ，友だちの写真撮影にも注目できる。 ・制作は好きで，自由に絵を描いたり，貼ったりオリジナルの作品を作ることができる。

- ・自分のしたいことを言葉で要求をしたり、教員の質問に答えたりすることができる。
- ・写真撮影では、カメラに視点を合わせ、自分の顔をよく見て楽しむことができる。
- ・テレビ画面に映したスライドでは、興味を持った部分は集中して見ることができる。
- ・意にそぐわない時や行動を指摘された時は、大声を出して主張することがある。
- ・制作は好きで、見本通りに作ることを好む。じっくりと取り組み時間がかかることがある。

3 単元設定の理由

本学級の児童は、自閉症や知的障がいの児童が多く、障がいの程度は様々である。学級では、個別のスケジュールに沿って活動している。言葉でのコミュニケーションができる児童もいれば、難しい児童もあり、言葉でのコミュニケーションが難しい児童は、絵カード等でコミュニケーションを図っている。休憩時間には、友だちと追いかけてこやままごとをしたりする児童もいれば、一人で動画鑑賞等の好きな遊びを楽しむ児童もいる。実態差が大きく、友だちと関わりが難しい児童もいるため、人とのコミュニケーションが本学級の課題でもあり、教員が遊びや授業を通して友だちと関われるよう支援している。

これまで本学級の生活単元学習では、学校の行事に関する単元、学校探検等短い単元の他に、季節単元に重点をおいてきた。季節ごとに校外に散歩に出かけたり、中庭で遊んだりして、植物や虫を見つけ、気温の変化を感じながら、その季節にしか味わえない活動に取り組んできた。また、収穫物で制作をし季節の行事を楽しむ等、その季節を十分に楽しむ内容を取り入れてきた。その単元毎に、児童から「楽しかった」「またしたい」「こんなの見つけたよ」「これで作ったら？」と楽しかった気持ちや気づいたこと、考えたこと等を伝えてくれている。また、言葉で表現できない児童も行動や表情でそれぞれ成長が見られている。このように季節単元は、児童の実際の生活に身近なものが教材であり、季節の活動を通して、発見し、感じ、考え、遊ぶ等のことを楽しみながら国語科、算数科等の他教科と多面的に繋がり学びを深めていく。

本単元では、季節単元の「冬を楽しもう」に取り組む。中庭や学校の周りの変化、動植物などの様子から、季節の変化を見つけ、身近な自然についての関心を高め、「冬」について理解を深める。また、冬の自然を感じたり、冬の行事を楽しんだりして、季節の変化を感じながら、自然の不思議に興味関心を高めるとともに、身近な人と関わる楽しさに気づかせることをねらいとしている。季節の変化を知ることや理解することは、自分が生活している環境への理解や身の回りの世界への興味関心の拡がりに繋がり、児童の生活経験を豊かにするものであると考える。今回は「冬」を楽しむ活動を通して、学級のみならず一緒に楽しい雰囲気を感じ、自分だけでなく友だちの新たな良さに気づき、児童間の交流を深めたいと考える。

そこで、前時「冬を見つけよう」においては、11月下旬頃から中庭や校外に散歩に出かけ、冬の始まり（風、寒さ）を感じたり、冬の様子（風、空、生き物）を見つけたりする経験を行う。自分たちで見つけた「冬」を写真に撮って紹介したり、自分たちで冬の行事を計画し楽しんだりする。そして、本時において、年中行事の一つ「お正月」における季節の挨拶「年賀状づくり」に取り組む。年賀状は、季節の変化を大切に日本の良き文化であり、新年の挨拶であると共に日頃の感謝の気持ちを伝え、離れた相手を思って自然と心と心が通じる行事でもある。

本時では導入に、「冬のおはなし」をする。「冬のおはなし」は、パワーポイント教材を使って行う。今の季節を知らせるとともに、日本には春夏秋冬があること、季節の移り変わりがあることを伝える。また、冬の植物、食べ物、行事等、冬に関するものを写真や文字で紹介し、冬という季節をいろんな視点から学習していく。その中で、冬の行事を振り返りながら、「年賀状」について知る。「冬のおはなし」では、クイズ方式で児童が楽しみながら発表できる場を設ける。口頭で伝えることが難しい児童には、写真・文字カードで選択して答えられるよう配慮する。「冬」の理解を十分に行った後、「年賀状づくり」に取り組む。

今回は、ICT活用の機会を設けるため、授業の導入にパワーポイント教材を使用し「冬のおはなし」をするに加えて、前時に年賀状用の写真撮影において「変身アプリ」を使用する。このアプリを使うと、被写体がいろいろな動物や髪型等に変身することができる。自分や友だちがカメラで変身する様子を楽しみながら、新しい年に向けて一番楽しく面白い写真を年賀状用に撮影できるよう支援していく。自分に興味がある児童たちにとって、「変身アプリ」での写真撮影は、興味深いものであると考える。いろいろ撮影を試す中で、教員や友だちと撮影の楽しさを共有しながら、友だちの写真撮影に注目したり、自分のお気に入りの写真を撮ったりする。次回、現像した写真を使って年賀状作成に取り組む。児童の活動の様子を称賛しながら、自分が面白いと思ったものが良い作品になったり、その作品で友だちと一緒に楽しんだり、「みんなと一緒に活動すると楽しい」ことに気づけたりするように授業を進める。その中で、自分自身のことに気づき、友だちの想いに気づき、そして、自分なりに表現し伝え合うことで人との関わりの楽しさに気づき、周りや主体的に関わりコミュニケーション能力を高め、学級としての仲間意識を深めていきたい。

4 年間指導計画（季節単元）

時期	単元名	単元の内容・ねらい
4月 5月	春を見つけよう	・校内外に散歩に行ったり，中庭で遊んだりして，春の生き物を見つけて触れる。また，春の暖かさを感じて中庭で遊び，春の訪れを知る。
6月 7月	夏を感じよう	・夏の暑い日差しや気温を感じながら，おもいっきり水遊びを楽しむ。また，学級で夏祭りを計画し，金魚すくいやお店屋さん等を他の学級を招待して楽しむ。
9月 10月 11月	秋を探そう	・校内外で秋の植物や虫を見つけたり，公園へどんぐり拾いにでかけたりする。また，収穫したもので制作し，ハロウィンや秋祭りを計画し楽しむ。
12月 1月 2月	冬を楽しもう	・冬の校内を散歩し，風の寒さを感じたり，植物の変化を見つけたりして季節の移り変わりに気づく。また，冬の行事（クリスマス，お正月，節分等）を楽しむ。
3月	春を見つけよう	・校内外に散歩に行ったり，中庭で遊んだりして春の訪れを見つける。また，春の行事（ひな祭り）を楽しむ。

5 単元の見どころ

- (1)身近な自然や季節に関心を持ち，身近な冬を見つけることができる。（思考力，判断力，表現力等）
- (2)冬の植物や野菜，行事等について，写真やイラストを見ながら知ることができる。（知識及び技能）
- (3)冬の自然を感じたり，冬の行事を楽しんだりすることができる。（学びに向かう力，豊かな人間性）

6 指導計画（全 20 時間）「冬を楽しもう」

冬を見つけよう	（散歩しよう）	・・・・・・・・・・ 3 時間
冬の行事を楽しもう	（クリスマスを楽しもう）	・・・・・・・・・・ 4 時間
	（年賀状を作ろう）	・・・・・・・・・・ 4 時間本時（3/4）
	（節分をしよう）	・・・・・・・・・・ 2 時間
冬の遊びを楽しもう	（お正月遊び）	・・・・・・・・・・ 4 時間
	（自然を感じて遊ぼう）	・・・・・・・・・・ 4 時間

6 本時の目標

- (1)冬の植物や行事について知り，写真やイラストを見て答えることができる。（知識及び技能）
- (2)友だちや教員と一緒に，年賀状作りに取り組むことができる。（学びに向かう力，豊かな人間性）
- (3)写真撮影に参加し，写真を撮ったり，撮られたりすることができる。（思考力，判断力，表現力等）

個人の目標

	個別の学習目標
A	・冬に関するものの名前を，挙手して口頭で答えることができる。（自立活動：6－(2)） ・自分を意識しながら写真撮影をしたり，友だちの写真撮影に注目したりすることができる。（生活科：2 段階－(1)イ，ウ）
B	・冬に関するものの名前を，写真・文字カードで選択して答えることができる。（自立活動：6－(1)） ・教員と一緒に，写真撮影に参加することができる。（生活科：1 段階－(2)カ）
C	・冬に関するものの名前を，写真・文字カードで選択して答えることができる。（自立活動：6－(1)） ・教員と一緒に，写真撮影に参加することができる。（生活科：1 段階－(2)カ）
D	・冬に関するものの名前を，挙手して口頭で答えることができる。（自立活動：6－(2)） ・自分を意識しながら写真撮影をしたり，友だちの写真撮影に注目したりすることができる。（生活科：2 段階－(1)イ，ウ）
E	・冬に関するものの名前を，写真カードで答えることができる。（自立活動：6－(1)）

	・教員と一緒に、写真撮影に参加することができる。(生活科：1段階－(2)カ)
F	・冬に関するものの名前を、挙手して口頭で答えることができる。(自立活動：6－(2)) ・自分を意識しながら写真撮影をしたり、友だちの写真撮影に注目したりすることができる。 (生活科：2段階－(1)イ、ウ)
G	・冬に関するものの名前を、挙手して口頭で答えることができる。(自立活動：6－(2)) ・写真撮影に参加し、自分で撮影しようとするすることができる。(生活科：1段階－(1)イ、ウ)

7 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法
1 分	1 始まりの挨拶をする。	・指名した児童に挨拶をするよう促す。 ・姿勢を正すことが難しい児童には、指差し支援や言葉かけを行う。(T2, T3)	【指名された児童】 ・号令をかけることができる。 【当番以外】 ・姿勢を正すことができる。	発言 観察
1 5 分	2 「冬のおはなし」を聞く。	・パワーポイントを使って、「冬のおはなし」をする。 ・適宜、児童に質問し、答えることができたなら拍手で称賛する。 ・「冬のクイズ」では、正解した児童はシールを得ることができることを知らせる。 ・正解した児童のシール板にシールを貼る。(T3) ・児童の発表を促したり、拍手で称賛したりする。(T2, T3) ・発語が難しい児童には、個別に教員が発声を促したり、写真カードを選択して答えられるようにしたりする。(T2, T3) ・テレビ画面に注目することが難しい児童や姿勢が崩れている児童には、指差し支援を行い注目するよう促す。(T2, T3) ・E は、同じ内容のスライドの教材を使って机上でマッチングをし学習するよう促す。(T2) ・E が離席した場合は、後方から着席するよう促す。(T2) ・E の離席に関しては、体調等を見て実態に合わせて休憩を促す。(T2)	【全員】 ・話をしている教員やテレビ画面に注目することができる。 【ADFG】 ・「冬」についての質問に対して、挙手して口頭で答えることができる。 【BCE】 ・「冬」についての質問に対して、写真・文字カードを選択して答えることができる。	発言 観察
1 5 分	3 年賀状用の写真を撮る。	・前回作成した年賀状や授業写真を振り返る。 ・本時も「変身アプリ」で写真を撮ることを話す。 ・アプリの使い方を説明しながら、楽しく撮影の実演をし、児童の興味関心を誘う。 ・児童の順番を決めて、順番に前に出てきてもらい撮影を行う。 ・撮影は教員と一緒に、自分で撮影できる児童は撮影ボタンを押すよう促す。 ・上手に取れている様子を称賛する。 ・撮影の様子は、テレビ画面に映し、学級のみんなで撮影の様子を楽しめるようにする。 ・カメラに注目することが難しい児童には指差し支援を行い、注目するよう促す。	【全員】 ・話をしている教員やテレビ画面に注目することができる。 【全員】 ・写真撮影に参加することができる。 【ABCDGF】 ・友だちの写真撮影に注目することができる。	作品 観察

		・テレビ画面に注目することが難しい児童や姿勢が崩れている児童には指差し支援を行い，注目するよう促す。(T2, T3) ・E が活動参加が難しい場合や情緒的に不安定さがみられた場合には，休憩を促す。(T2)	【E】 ・情緒が不安定な時に休憩を取ることができる。	
8 分	4 振り返りをする。	・撮影した写真を一枚ずつ鑑賞し，撮影写真を称賛する。 ・撮影写真を振り返りながら，一人ひとりの写真を称賛する。 ・テレビ画面に注目することが難しい児童に，指差し支援を行い注目を促す。(T2, T3)	【全員】 ・テレビ画面に注目することができる。	観察
1 分	5 終わりの挨拶をする。	・指名した児童に挨拶をするよう促す。 ・姿勢を正すことが難しい児童には，指差し支援や言葉かけを行う。(T2, T3)	【指名された児童】 ・号令をかけることができる 【当番以外】 ・号令に合わせて姿勢を正すことができる。	発言 観察

7 準備物及び環境設定

TV, iPad, , パワーポイント教材, スケジュールカード, ホワイトボード, 絵・文字カード

